

労働・人権	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●	・従業員(正社員・嘱託・契約社員等)の公正な待遇を行っている。 ・厚生労働省「同一労働同一賃金ガイドライン」を理解し、ガイドラインに沿った体制を整備し、R3.1.8に熊本労働局の報告徴収も完了している。					5.5		8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●	・「個人別休暇カレンダー」、「有給休暇取得管理表」等により、有給休暇の取得を推進している。 ・毎月の「衛生委員会」にて、個人別の残業時間と部署の稼働状況の確認を行っている。 ・毎週水曜日を「ノー残業デー」として定時帰社の呼びかけを行っている。 ・熊本市の「結婚応援団体」に登録している。			3	5.5		8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●	・「人事制度制度」により、人材育成の仕組みを整備し、OJT、OFFJTによる教育を行っている。 ・「公的資格取得管理規程」により、資格取得費用の助成や、資格手当及び報奨金の支給を行っている。				4	5.5		8		9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●	・(公財)熊本県総合センターに委託し、毎年、健康診断、ストレスチェックを実施している。また、保健師、産業医による職場巡視、安全衛生研修等を実施している。 ・インフルエンザ予防接種を会社負担で行っている。 ・毎日15時に、ラジオ体操を館内放送し、体操を行っている。 ・毎週水曜日を「ノー残業デー」として定時帰社の呼びかけを行っている。 ・月末に総務の安全運転管理者から定期メールを配信し、交通事故等への注意喚起を行っている。			3				8										17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●	・当社では、年齢、性別、人種などの違いによる差別的待遇や業務運営は行っていない。 ・女性技術者、高齢技術者が活躍する職場環境となっている(社員98名中女性が27名、高齢者も27名を占めている) ・熊本労働局が主催する「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」に参加するなどして、精神障害者等のための環境づくりに努めている。				4.4	5.1 5.5		8.5		10.2 10.3								16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●	・社内には感染防止のためのパーティション、非接触型の検温器・消毒液・水栓、換気用の業務用扇風機等を整備し、感染防止対策を徹底している。 ・「在宅勤務規程」によって、在宅勤務(テレワーク)を推進している。また、時差出勤や感染症予防休暇等により、感染症に対応する勤務環境を整備している。			3				8		9.1		11		12				
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●	・ドローン、3次元レーザー計測機器、3次元設計ソフトなどを導入し、業務の効率化と生産性の向上に取り組んでいる。 ・在宅勤務(テレワーク)の推進のためにリモート環境を整備し、災害発生時や感染症蔓延に備えている。							8		9.1		11		12				
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●	平成29年10月にプライト企業の認定を受けている。			3	4			8		9				12					

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	・処理室のシンクに排水口を別添えし、ホルマリンを利用した機材を洗浄する際は排水をタンクに溜めている。 ・ホルマリンや試験薬などの有害化学物質を廃棄する際はマニフェストを提出し専門業者に依頼している。	3.9								11.6	12.4		14.1	15.1															
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、社用車は可能な限りハイブリッド車としている。 ・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、蛍光灯はほぼ全てをLEDに切り替えている。												13																
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、社用車は、可能な限りハイブリッド車としている。	2.4										12.4	13	14	15														
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	・動植物類の国勢調査業務等を受注し、生物多様性や生態系等に関するデータを収集し分析している。 ・「NPO法人みらい有明・不知火」の会員として、産官学連携により有明海・八代海沿岸海域の再生と持続的な地域創出に向けた調査研究などを行っている。 ・海藻や海洋動植物の生息・生育環境の保全・創出のための現地調査、各種解析(波浪・漂砂・潮流)、施設的设计等に取り組んでいる。													14	15														
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	・紙ゴミ、可燃ゴミ、カン・ビン、ペットボトルの分別に取り組んでいる。 ・ペーパーレスの一環として電子化文書一括管理ソフト(Docuworks)を社内でも広く活用している。 ・一部のプリンターではメーカー純正リサイクルトナーを使用しており、複合機の廃トナーはメーカーに回収を依頼している。							9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15														
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	・県内の湖、河川、ダム等の水質調査業務を行っている。 ・「(公財)くまもと地下水財団」の賛助会員として、水源かん養の取組みに協賛している。また、財団主催のセミナー受講や、ウォーターオフセット事業に参加している。 ・各トイレにセンサー式蛇口を設置し、節水に役立てている。 ・雨水タンクを設置し、節水に役立てている。	2.4									11.5			14.1 14.2 14.3	15		17												
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	・トイレトーパーやペーパータオルはリサイクル品を購入している。 ・コピー用紙はグリーン購入対象商品を購入している。											9.4		12.4 12.5	13	14	15												
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		1	2											6.4			12.3	14	15	17									
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●	・「(一社)街路樹診断協会」の会員として、アーバンフォレスト(都市の樹木や樹材の環境的価値を高め、気候変動やヒートアイランド、都市洪水等に対して、レジリエントで生物多様性に富む豊かな都市を作っていくこととするもの)の推進活動に取り組んでいる。										11.6 11.7			13.1 13.3	15		17												
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●																	7.1 7.2 7.3 7.a	9.4	11.5	13.1 13.3									
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●																	6	9.4	11.3 11.4 11.5	12.2	13	15							
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●																	6.1 6.3 6.6			11.3 11.4 11.5	12.2	13	15						
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●	・「全国アマモサミット」、「干潟フェスタ」などのイベントの運営・補助スタッフとして参加し、海洋環境の保全活動に努めている。 ・熊本県沿岸再生官民連携フォーラム事務局として、沿岸海域における「防災と環境の調和」を目指した産学官連携によるシンポジウムの開催やオンライン講習会等を企画・開催し、海域・海洋でのゴミ問題等、海域環境の様々な課題解決に向けた情報交換、情報共有の場の運営スタッフとして取り組んでいる。																			12.2 12.5		14							
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●																						9.4	11.2	13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●																								7.1 7.2 7.3 7.a	9.4	11.6 11.a	12.8	13		17.17

製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●	・品質マネジメントシステム、情報セキュリティマネジメントシステムを構築し、ISO9001(品質)と27001(情報)を認証取得している。 ・ISOの認証取得により、PDCAサイクルを確立し、継続的改善に努めている。 ・当社の成果品については、顧客が示す仕様書に準拠することを確実にするため、必要な照査を実施し、その記録を維持している。	3.9														9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●	・道路や河川堤防・護岸等の公共施設の設計において、歩道入り口などの段差解消など歩行者や自転車に安全に通行できる設計計画や親水性の高い護岸設計を行うことで安心・安全な生活環境整備に取り組んでいる。 ・公共施設の利用や注意を促すための情報板(看板)設置計画を立案する際には、単純化された絵文字(ピクトグラム)を提案することで誰もが利用しやすい設計計画に取り組んでいる。										9.1	10	11.7													17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●			2.3 2.4				7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15											17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●						7							12.2	13.1													15
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●	・経営理念(社会に貢献する、顧客を大事にする、共に豊かになる)に基づき、建設コンサルタント、補償コンサルタントの事業を通じて、社会課題を解決するための公共事業(社会資本整備、環境保全、防災・減災、災害復旧等)に携わっている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15											17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●	・熊本市と「道路美化ふれあいボランティア協定」を締結し、健康自衛隊通りの清掃活動を行っている。 ・女子サッカーチーム「熊本ルネサンスフットボールクラブ」に協賛している(シルバー会員)。 ・尾ノ上校区や健康校区などの祭りやイベントに協賛を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●	・「事業継続計画書(BCP)」を策定し、災害発生時の初動、緊急時の連絡体制等について規定している。 ・「備蓄室を整備し、非常時の防災備品や飲食品等を整備している。 ・地震保険、火災保険に加入している。				4							11.5		13.1												16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●	・地域の建設コンサルタント/補償コンサルタントとして、防災・減災に関する多様な業務に取り組んでいる。 ・技術士、測量士、建築士をはじめ、地域防災のため必要な専門技術者を育成している。 ・国や協会(熊本県測量設計業協会、建設コンサルタンツ協会)と災害協定を締結し、災害発生直後より、被災状況の調査等に携わっている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1											16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●										9		11	12	13.1													
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●	【予定】令和4年4月までに、会社のホームページや社内グループウェアの掲示板等にて、SDGsの普及啓発を行う。 【予定】適宜、SDGsに関するセミナー等に参加し、社内にてフィードバックする。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●	・毎年、高校生や大学生のインターンシップを、積極的に受け入れている。(熊本工業高校、熊本大学、福岡大学等) ・当社の環境分野の技術者が、子供達を対象として、環境学習を行っている。				4				8.6		10.2																17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●	・地元の大学生、高専生、専門学校生、高校生を積極的に雇用している。 ・「ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート制度」に登録している。 ・若者の地元定着に寄与するために熊本市の「結婚応援団体」に登録している。				4.4				8.5 8.6																		17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●	・熊本農業高校農業土木科の学生に対して、圃場整備事業等により消失・改変される自然環境や動植物の生息・生育環境の保全等に関する講義を行うなどして、人材の育成支援に取り組んでいる。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15											17